

モミの木との出会いが決めた家
 納得するまで話し合いを重ね
 満足の我が家に

次世代の住まい
CASE 42
 宮城県仙台市
Kさんの家
 取材日/2014年12月



通りからも目を引くポウウィンドウのある外観。屋根を緑に外壁をダークブラウンにしてモミの木を表現したそうです。



リビングダイニングのスペースは畳敷の小上がりや、ポウウィンドウ(曲線を描いて張り出した窓)など個性的ながらゆとりあるくつろぎの空間に。照明をほぼダウンライトにするなど部屋をすっきり見せる工夫をしています。

「家は3回建てて満足するといいますが、我が家は一回目で大満足しました」と家づくりの感想を話してくれたご主人。2年ほど前、会社の同僚たちが家を建て始めたので、展示場を訪れたのがモミの木の家との出会い。そのときはモデルハウスというのを見てみようという気軽な思いで本気で建てる気はなかったそうですが、モミの木の家では木の香りや裸足で歩く感触の良さが強く心に残ったそう。それから家は家づくりを目指し、他の無垢材とモミの木を比較しながら他のモデルハウスを回りましたが、「やっぱりモミの木にはかなわない」と契約の運びに。

「実は最初の訪問で営業の方がモミの木やスピノフのいいところだけでなく、デメリットもきちんと伝えてくれた。その姿勢に共感したのも大きかったです」とご主人。奥さまも「匂いに敏感な次男がモミの木の家で、すうーっと深呼吸したのを見て、やっぱりニコニコだと確信が生まれました」とニコニコ。入居から約1年。「今では私も外出から帰ると玄関で思わず深呼吸してしまうんです」

「ご主人やお子さんは冬も裸足。モミの木の家を五感で楽しんでくれているようです。」

「K様ご夫妻は、私のロウるやい話を耳を傾けていただき、多くの共感共鳴の頂きへうんうんをしてくれたいのを覚えております。土地案内で角地だけでも高低差があるの、どうしますか？ 決断が必要な時に即断して頂けるご主人と打合せの線引きへご主人と奥様の互いの主張の棲み分けの上手な奥様が一つ一つの問いに、真剣にお答え打合せ頂きました。そのためプランも仕様もトントんと進んで色々な提案や夢の実現が可能となり、お洒落な外観、二階おりのデザインが揃った、大きいカウンタースペース、書庫、家事コーナー、シューズインクローカーなどなどK家の思いが詰まったお家の完成！(勝手にそう思っています(笑))出来たことうれしく思っております。たまにお邪魔いたしますので、今後ともよろしくお願い致しますね。」

担当より一言



営業 石井

設計の打ち合わせでは要望にダメ出しされたことも多かった(汗)と話すK様ご夫妻。パソコンとしての意見をきちんと伝え、いい家と一緒に作っていくというスタッフの思いが伝わってきました。納得いくまで話し合ったことが大満足の我が家に繋がっているんですね。



リビングの一角にあるご主人のジョブコーナー。モニター4台を置く2mのカウンターを取り付けました。



「掘りごたつが欲しい」というご希望を叶えた小上がり。ダウンライトも和風にあつらえました。畳下には引き出し式の収納スペースがたっぷり。



リビングを見渡せるキッチンでは、ご主人も料理の腕を振るうそう。床下収納もあり、ゴミ箱も壁面にすっきり収まっています。調味料の棚にあえて家族分のカップを並べるのがこだわり。



階段を上った2Fホールには、雨の日に便利な室内干しのスペースや本棚を設置。ファミリールームとして活用しています。



CASE42:宮城県仙台市 Kさんのお宅

家族構成 ご主人、奥さま、長男、次男、長女
 延べ床面積30坪 3LDK
 こだわり設備:モミの木の床、スピノフ



ご主人も息子さんも趣味は格闘技やボクシングと肉体派。寝室はトレーニング室に!?



広めに造ったトイレには奥さまお気に入りのペンダントライトを。電磁波が低く遠赤外線が料理するDGHは煮込み料理の味がさらに美味しくなりました。



北側の子ども部屋も自然光を効果的に取り入れる窓の配置で明るく。

